

令和6年度の横須賀市の取り組み

当事者の会（ひだまりん）



1 目的

出会い、情報交換等の場を提供し、当事者同士が交流することで対人関係の改善を図ると共に、社会参加の動機づけとする。

2 対象者

21歳以上の社会的ひきこもり状態にある本人

3 開催回数・時間

毎月1回、9時30分～12時

4 内容

各自の近況報告

ミーティングや散歩、卓球、トランプ等

5 場所

保健所（野外活動を行うこともある。）

6 昨年度実績

12回開催、実参加人数7人、延参加人数43人

家族会（すずらんの会）



1 目的

家族が社会生活から孤立することを防ぎ、同じ困難を抱える家族の相互理解、情報交換の機会とする。

2 対象者

原則、本市在住のひきこもりの家族

3 開催回数・時間

年間4回、13時30分～15時30分

4 内容

家族が苦勞していることや、工夫していることなどの話し合い

5 場所

保健所

6 昨年度実績

3回開催、実参加人数12人、延参加人数18人



保健所 当事者会、家族会参加状況

保健所保健予防課

令和6年度は1月末

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
当事者会回数	2	10	12	12	10
〃 延人員	15	54	39	43	21
家族会回数	1	2	2	3	4
〃 参加者数	4	10	10	18	28
講演会	0	0	2	2	1
〃 参加者数	0	0	38	60	43

令和6年度の状況 ()は初参加人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
当事者会	2	2	3	1(1)	2(1)	4	2	2	3(1)	3(1)	初参加4名
い〜〜ばしよ 横須賀 (県と共催)					6※	※女性限定 (スタッフも女性のみで運営) 横須賀市 4名、他市 2名					
家族会		4(1)		4(1)				10(6)		10(5)	初参加13名

ひきこもり講演会(家族向け)

日時 令和6年11月14日(木) 13:30~16:00

会場 保健所第1研修室

参加者数 43名

講師 田口ゆりえ氏(KHJ埼玉けやきの会家族会代表)

令和6年度

ひきこもり講演会

わが子がひきこもるとき
～親の向き合い方と
会話の工夫～

声かけ
思い
焦り
理解

参加費:無料
(先着:50名)

プロフィール
新潟市出身。看護師として大学病院などで勤務。2006年から埼玉県ひきこもり親の会に参加。2009年にNPO法人化し代表に就任。「ひきこもりの回復にとって大切なこと、それは、親子の愛情を立て直し、保持しつづけること。そのために家族会がある」という信念のもとに家族への支援を第一に掲げて月例会、学習会、CRAFT認知行動療法を応用した相談支援など日々精力的に活動している。
著書「親と息子のマナーぶらん」「学習会記録集」「親によるひきこもり回復の参考書」

講師: 田口ゆりえさん
KHJ埼玉けやきの会家族会代表理事

日時 令和6年11月14日(木)
13:30~16:00(13:00開場)

会場 ウェルシティ市民プラザ3階
横須賀市保健所第1研修室

申込 e-kanagawa横須賀
https://e-kanagawa.jp/42019-a/offer/offer_list_detail/1104090760
※もしくは下記の間合せ先に直接お申し込みください

申込期間 令和6年9月14日~11月10日
※会場に空きがあれば当日でもご参加いただけます

【問合せ】 横須賀市民生局健康部保健所保健予防課
【電話】046-822-4336(8:30~17:00)

ひきこもり講演会(市民向け)

保健所保健予防課

日時 令和7年3月14日(金) 14:00~16:00

会場 保健所第1研修室

定員 60名 個別相談会 3名(事前予約制)

講師 池上正樹氏(フリージャーナリスト)

令和6年度

ひきこもり講演会

大人のひきこもり
～見えない孤立と希望を
見つけるための手立て～

講師 ジャーナリスト 池上 正樹
ひきこもり取材歴30年

講師略歴
数千人の当事者の声を聞き、今もなお「ひきこもり」関係取材を続けている。「KHJ全国ひきこもり家族会連合会」を発足当初からサポートし、仕事を辞めて各地の地域家族会や家族の相談にも戻る。厚労省をはじめ全国各地でひきこもり支援に関する会議の委員を歴任。NHK「ワイドアクト」現代+「あこぎ」をはじめ、テレビやラジオにも多数出演。著書は『ルビ』8050問題〜本職親子「ひきこもり死」の現場から(同出版新書)、『ルビとひきこもり未読』(宝島社新書)、『大人のひきこもり』(講談社現代新書)、『ひきこもりを育てた』(ベスト新書)など多数。日本文学協会会員。

日時 令和7年3月14日(金)
14:00~16:00(13:30開場)

会場 ウェルシティ市民プラザ3階
横須賀市保健所第1研修室

申込 QR e-kanagawa横須賀
https://e-kanagawa.jp/42019-a/offer/offer_list_detail/1104090760
※もしくは下記の間合せ先に直接お申し込みください

申込期間 令和6年9月14日~11月10日
※会場に空きがあれば当日でもご参加いただけます

参加無料
(先着:60名)

【問合せ】 横須賀市民生局健康部保健所保健予防課
【電話】046-822-4336(8:30~17:00)

ひきこもり支援を考えるフォーラム を1月26日に開催

日時 令和7年1月26日(日) 13:30~

会場 ヴェルクよこすか 6Fホール

来場者数 58名(フォーラム開始時)

インターネット中継視聴者数 23名

報道機関 神奈川新聞(1/27 朝刊13面)

※カラー写真付きの3段記事が掲載

当日は、会場で次第と一緒に
引きこもり支援ポータルサイ
トの2次元コードを印刷した
名刺サイズのカードを配布▼

横須賀市ひきこもり・
不登校児童生徒支援ポータルサイト

対人関係や自分の居場所に関する悩みは、
誰もが感じるものです。

もしも、これからのことを誰かと話したり、
自分の気持ちを伝えたいと思ったときには
このポータルサイトのことを思い出してください。
あなたが進む道を選ぶきっかけになるかもしれません。

<https://www.yokosuka-hikikomori.jp/>



講師2人によるトークセッションの様子▼



フォーラムチラシ

ひきこもり支援を 考えるフォーラム

日時 令和7年1月26日(日) **入場無料**
(2025年)

13:30 ~ 15:30

会場 ヴェルクよこすか 6Fホール
(住所 横須賀市日の出町1丁目5番地)



詳細はこちら

定員 先着200名(申込不要/当日直接会場へ)

当日は、日本初のひきこもり当事者・経験者が主体となる株式会社を運営し、独自の取り組みをされている佐藤さんと、ひきこもり支援の最前線で当事者や家族と日々向き合い活動されている柏さんのお二人をお招きし、講演とトークセッションを行います。

講演テーマ「安全・安心を最優先とするひきこもり就労サポートの在り方」

講師

株式会社
うちらめっちゃ細かいんで
代表取締役

さとう けい

佐藤 啓さん



日本初のひきこもり当事者・経験者主体の株式会社「うちらめっちゃ細かいんで」を創設(同社Xより)し、ひきこもりの方を対象としたHP作成講座や産後連携・IT軽作業による就労継続支援事業を業務として行う一方で、オンライン当事者会や家族会等を開く等、様々な形でひきこもり支援を実施。
著書の「ひきこもり×在宅×IT=可能性無限大!株式会社うちらめっちゃ細かいんで」はテレビ等でも紹介されている。

講演テーマ「横須賀市のひきこもり支援の実例について」

講師

精神保健福祉士
相談支援専門員

かしわき

柏 美樹さん



元(一社)神奈川県精神保健福祉士協会会長。
三浦市基幹相談支援センター(こころの相談センターチームブルー)主任相談専門支援員。
精神保健福祉士相談支援専門員として、神奈川県精神保健福祉の実践者として多領域で活動し、その経験を生かして、横須賀市を中心として活動するNPO法人こどもの夢サポートセンターでひきこもり支援員として活動。

お問い合わせ

横須賀市生活支援課【電話】046-822-8070(8:30~17:00)

ポータルサイト2次元コード→



ひきこもり・不登校児童生徒 支援ポータルサイトを 1月16日に開設

聞かせてください、
あなたのきもち。

対人関係や自分の居場所に関する悩みは、誰もが感じるものです。
ひきこもり状態になる要因は人によってさまざまで、
決してあなた自身やご家族が悪いわけではありません。
その状態があなたが生きていくために必要な時間であれば、
そのままでもいることも選択肢の一つです。
無理をすることはありません。

もしも、これからのことを誰かと話したり、
自分の気持ちを伝えたりしたいと思ったときには
このポータルサイトのことを思い出してください。

あなたが進む道を選ぶきっかけになるかもしれません。

横須賀市長からのメッセージ



私は「ひきこもり」と呼ばれる状態が直ちに問題だと感じてはいません。
それは、ひきこもり状態そのものより、
当事者自身が「自分らしく生き生きと暮らすことの妨げになること」を
解消すべき問題であると捉えているからで、
「ひきこもり」という言葉・呼び方にも疑問を持っています。
私自身もかつては生きることの希望を失い、
いわゆる「ひきこもり状態」となった時期がありました。
今思えば、その間に内省し、悩み、考える過程があったからこそ、
今の自分があると感じています。
だからこそ私は、ご自身でひきこもり状態という「一人の時間」を選択し、
それが生きていくために必要な時間である場合は尊重すべきだと考えています。
一方で「今の状態に不安を感じている」「今の状態を変えてみたい」と思う方に対して
必要な情報を選択肢としてお示しすることができないかという思いから、
このポータルサイトを開設しました。
市が実施しているさまざまな施策や、
民間の取り組みを知るガイドとして活用いただくことで、
一人一人が歩んでいく道を選択するきっかけになることを願っています。

横須賀市長

に地克明



ひきこもり当事者の方へ



ご家族・支援者の方へ



不登校の生徒・ご家族の方へ

<https://www.yokosuka-hikikomori.jp/>